

○大通院〔開基は湘南和尚なり、此人は初め土佐国守の息にして、山水の勝景を庭中に造る事を好て、奇石奇木を諸邦より聚る事多し。一歳書を紀州禅林寺来山和尚に奉じ、奇樹靈石を求る事正法誌に見えたり。庭中の風色当山第一にして二に双ぶものなし。方丈の画は海北友松、書院の襖猿廻しの図、竹林の雀等は都て狩野探幽筆、あるひは主馬尚信の筆なり。当院の檀越は松平土佐侯なり〕